

1 つぎのかんようくのいみを線でむすびましょう。

- (1) 目を皿さらのようにする。 ・ 弱点じやくてんや欠点けつてんを言われて聞くのがつらいこと。
- (2) 耳みみがいたい。 ・ よく見ること。おどろいているようす。
- (3) 鼻はなにかける。 ・ なやんでいるようす。
- (4) 頭あたまをかかえる。 ・ じまんすること。とくいになること。

2 つぎの文の□にかん字一字を入れて意味いみの通とおる文ぶんしように

しましよう。

- (1) だんだん□ひが短みじかくなってきた。 (2) ろうそくの□ひをつけた。

- (2) □かだんに、たねをまいた。 (4) あしたは□かよう日ひだ。

- (5) □しょう学校がっこうに通かよう。 (6) □しょう年としが二人、やってきました。

3 つぎの—線部せんぶのことばを、国語じてんの見出し語けんしごの形かたちに直なおして書きましよう。

(れい) 走はしって帰かえる。 (走る)

(1) きのは、とても楽しかった。( )

(2) ごはんを食たべたら、歯はをみかく。( )

(3) だまって、本ほんを読よむ。( )

(4) そんなに遠とほくまで行いってはいけません。( )

1 つぎのかんようくのいみを線でむすびましょう。

(1) 目を皿さらのようにする。 弱点や欠点を言われて聞くのがつらいこと。

(2) 耳がいたい。 よく見ること。おどろいているようす。

(3) 鼻にかける。 なやんでいるようす。

(4) 頭をかかえる。 じまんすること。とくいになること。

2 つぎの文の□にかん字一字を入れて意味いみの通とおる文しように

しましょう。

(1) だんだん **日** ひ が短みじかくなってきた。 (2) ろうそくの **火** ひ をつけた。

(2) **花** か だんに、たねをまいた。 (4) あしたは **火** か よう日だ。

(5) **小** しょう 学校がっこうに通かよう。 (6) **少** しょう 年が二人、やってきた。

3 つぎの—線部ぶのことを、国語じてんの見出し語の形に直なおして書きましょう。

(れい) 走はしって帰かえる。 (走る)

(1) きのは、とても楽しかった。( **楽しい** )

(2) ごはんを食べたら、歯はをみがく。( **食べる** )

(3) だまって、本を読む。( **だまる** )

(4) そんなに遠とほくまで行ってはいけません。( **遠い** )